

平成29年度肝炎対策事業実施状況
及び
平成30年度肝炎対策事業について

青森県の肝炎対策の概要

市町村

保健所設置市

* 事業名の後の()は国補助メニュー等

①肝炎ウイルス検診(健康増進事業)(重症化予防推進事業)

②受診勧奨(健康増進事業)(重症化予防推進事業)

- ・陽性者(健康増進事業)へ初回精密検査の受診勧奨
 - ・経過観察者、抗ウイルス治療非適応者への定期検査の受診勧奨
- フォローアップ実施体制整備済市町村67.5%

青森県

* 事業名の後の()は国補助メニュー等

①肝炎ウイルス検診(重症化予防推進事業)

①'職域肝炎ウイルス検査費助成(県単独)

②受診勧奨(重症化予防推進事業)

- ・陽性者へのフォローアップ(初回精密検査の受診勧奨etc...)

③初回精密検査費用の助成(重症化予防推進事業)

- ・フォローアップ同意者で陽性と判明してから1年以内に受診

④定期検査費用の助成(重症化予防推進事業)

- ・フォローアップ同意者で医療費助成を受けていない者(年2回まで利用可能、ただし所得制限有)

⑤肝炎の医療費助成(肝炎治療特別促進事業)

- ・IFNフリー治療/核酸アナログ製剤治療
- 限度額:1万or2万

【新規】

⑥入院医療費の助成【H30】

(肝がん・重度肝硬変治療研究特別促進事業)

- ・B型C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変に対して行われる入院医療(保険適応)のうち、高額療養費多数該当者
- 限度額:1万円(所得制限有)

医療機関

【新規】肝炎医療コーディネーター設置

肝炎ウイルス陽性者への適切な案内やフォローアップ

肝炎ウイルス検査未受診者

肝炎ウイルス検査の受検

肝炎ウイルス陽性者

医療機関における精密検査の受診

経過観察者
抗ウイルス療法
非適応者

抗ウイルス療法
適応者

定期検査受診

治療適応の早期判断
肝がんの早期発見
生活指導による病態改善

抗ウイルス療法
による治療

がん等の治療

肝がん死亡率の減少

連携

平成29年度県の肝炎対策事業(概要)

区分	項目	取組内容	実績
普及啓発	県民公開講座	ウイルス性肝炎の正しい知識、最新の治療方法を県民に情報提供	H30.7.15 おいらせ町 138名参加
	県の広報媒体	①テレビ ⇒肝炎ウイルス検査受検勧奨 ②ラジオ ⇒肝炎ウイルス検査受検勧奨 ③県庁ホームページ ⇒検査、各種医療費助成制度周知	①RAB「LINK/青森県」 H29.9.16～9.30 10回放送 ②RAB(広報タイム) 月曜～木曜7:30～7:35 毎月1週間放送 FM(あおもり・ふあん) 16:55～17:00 H30.1放送 ③県庁ホームページ 医療費助成3回更新
	資材作成	①肝炎ウイルス検査カード作成 ②肝炎手帳作成	①20,098枚配布(9万枚作成) ②400冊部作成
早期発見・早期治療、重症化予防	検査	肝炎ウイルス検査	指定医療機関、保健所無料検査 H28:485件,H29(～H30.1):890件
		職域肝炎ウイルス検査費助成	協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受検者自己負担分を助成 H28:1,772件 H29(～H29.12):1,370件
	陽性者フォローアップ	自治体を実施する肝炎ウイルス検査陽性者、ウイルス性肝疾患患者の受検勧奨・受診勧奨・経過観察等を実施	県(H29(～H30.3):21名) フォローアップ実施体制整備済市町村:27市町村(7市町村増)
	治療	初回精密検査	自治体を実施する検査で陽性となった者に対する初回精密検査費用を助成
肝炎治療医療費助成		肝炎治療に対する医療費助成	H28:1,463件 H29(～H30.2):1,173件

区分	項目		取組内容	実績
	経過観察	定期検査費用助成【H28～】	ウイルス性肝疾患患者に対する検査費用助成	H28:11件、H29:5件
関係機関連携	医療機関	拠点病院等連絡協議会	拠点病院・専門医療機関を参集し、肝疾患診療体制等について協議	開催日：H29.11.29 場所：ラ・プラス青い森 主な議事 ①県内の肝炎ウイルス検査者の推移・受給者証の交付状況の情報提供 ②肝炎医療コーディネーター設置要請 ③専門医療機関での肝炎患者の掘り起しの取組等
	市町村	研修会【28～】	市町村担当者等に対し、肝炎の基礎知識、先進市町村の事業紹介、県の事業紹介を行い、肝炎対策を強化（H29年度からは医療機関まで参集範囲を拡大）	①県主催 開催日：H29.6.14 場所：ラ・プラス青い森 参加者：100名
肝炎対策の推進	肝炎対策協議会		青森県における肝炎対策の総合的な推進に関する事項を協議	第1回_開催日：H29.7.26 場所：ラ・プラス青い森 主な議事 ①肝炎総合対策の見直し ②肝炎対策事業報告 第2回_開催日：H29.11.29 場所：ラ・プラス青い森 ①肝炎総合対策の見直し 第3回_開催日：H30.3.22 場所：新町キューブ

平成30年度県の肝炎対策事業について

1 肝炎ウイルス検査

(1) 緊急肝炎検査事業 4,416千円【継続】

- ・県の指定医療機関において、無料肝炎ウイルス検査を実施する。
- ・検査陽性者のフォローアップを実施する。

【参考】

	H28年度			H29年度(H28.4～H29.1)		
	検査者数	B型陽性者	C型陽性者	検査者数	B型陽性者	C型陽性者
検査	485件	5件	2件	890件	4件	4件
フォローアップ	13名			21名(H28年度までの陽性者含む)		

(2) 職域肝炎ウイルス検査費助成事業 1,224千円【継続】

協会けんぽが実施するB型・C型肝炎ウイルス検査(希望者に対して実施)について、受診者の検査費用の自己負担分を助成する。

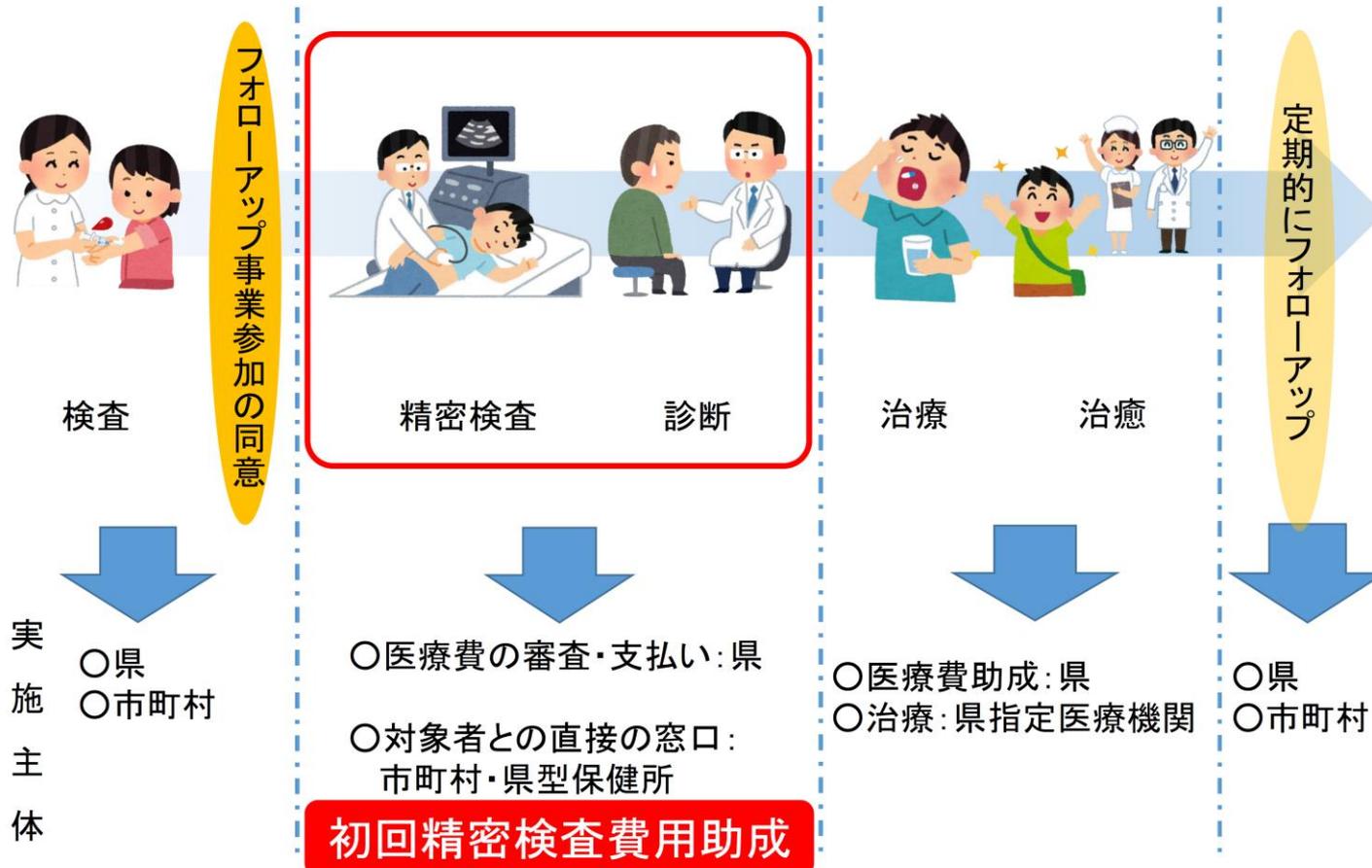
【参考】

	H28年度			H29年度(H29.4～H29.12)		
	検査者数	B型陽性者	C型陽性者	検査者数	B型陽性者	C型陽性者
検査	1,772件	2件	5件	1,370件	3件	8件

2 検査費用の助成

(1) 肝炎ウイルス検査陽性者初回精密検査費助成事業 448千円【継続】

肝炎ウイルス検査において陽性となった者への医療機関での初回精密検査費用の助成する。



【参考】

H29年度 (H29.4~H29.2) 実績: 24件

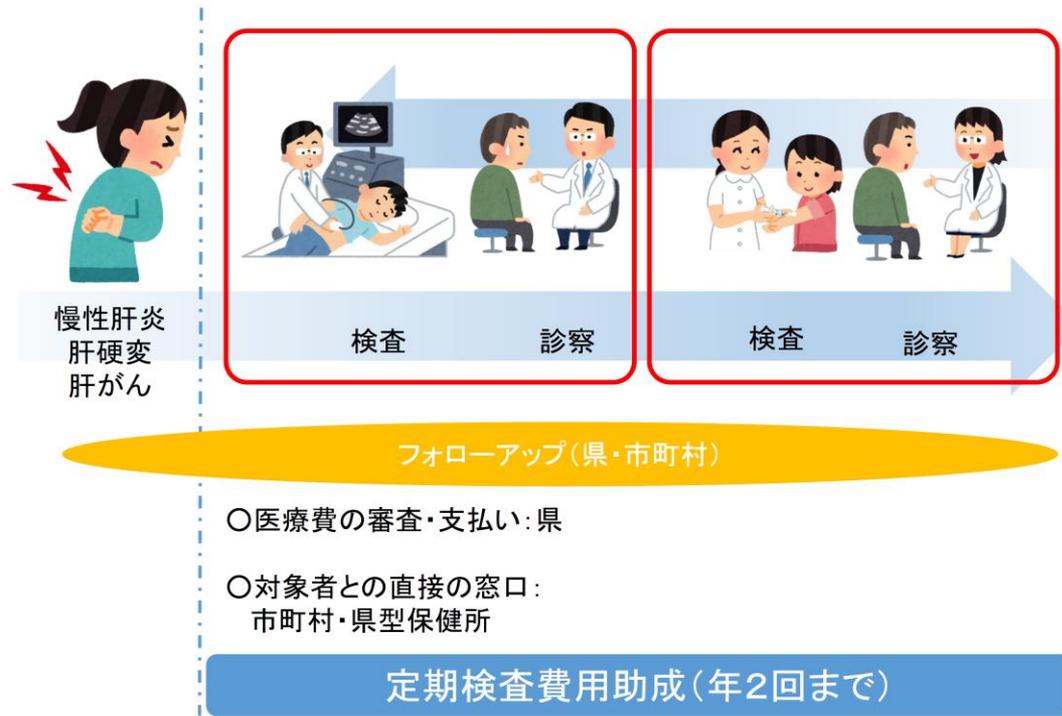
H28年度

実績: 35件

(2) 肝炎ウイルス陽性者定期検査費助成事業 2,654千円【継続】

肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変及び肝がんと診断された患者が定期的に受ける医療機関での検査費用を助成する。

注: 肝炎治療受給者証の交付を受けていない患者が対象



平成30年度			
助成額	慢性肝炎	非課税世帯	無料
		中所得非課税世帯	2,000円
助成回数	肝硬変・肝がん	非課税世帯	無料
		中所得	3,000円
助成回数		2回	

※中所得: 市町村民税所得割235千円未満の世帯

★診断書の提出について緩和される予定

【参考】

H29年度(H29.4～H30.3)実績: 5件

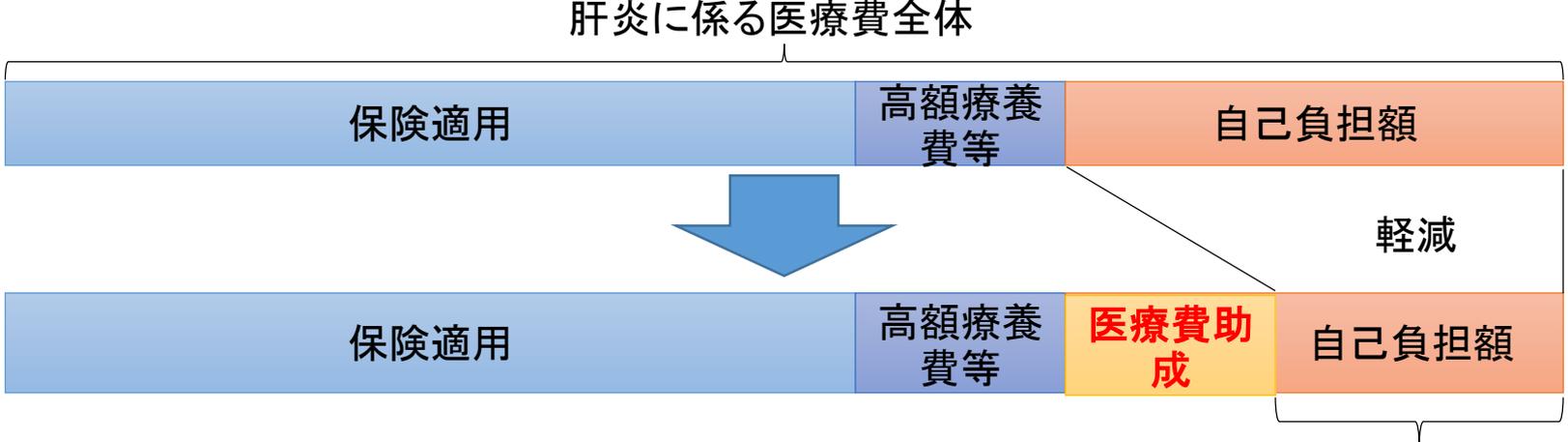
H28年度 実績: 11件

3 医療費の助成

(1) 肝炎治療医療費助成事業 104,278千円【継続】

インターフェロンフリー治療、インターフェロン治療又は核酸アナログ製剤治療を必要とするB型・C型肝炎患者がその治療を受けられるよう、医療費を一部自己負担限度額を定め助成する。

【参考】肝炎治療医療費助成のシステム



限度額: 1万円or2万円

【参考】

H29年度 (H29.3～H29.12) 支払実績: 96,202,414円
H28年度 : 191,017,220円

【H30年7月から開始】マイナンバー(個人番号)を活用した申請について

マイナンバー(個人番号)を活用することにより、住民票の写し及び課税証明書の添付を省略することができるようになります。

(2) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 11,000千円【新規】(H30.12～開始予定)

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の特徴を踏まえ、患者の医療費の負担の軽減を図りつつ、患者からの臨床データを収集し、患者・重度肝硬変の予後の改善や生活の質の向上、肝がんの再発の抑制などを目指した、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための仕組みを構築する。

【参考資料3参照】

※認定協議会を設置することが必要であることから、肝炎治療医療費助成事業審査会を踏襲したもので対応予定と考えている。

4 その他

(1) 肝炎治療医療費助成事業(事務関係) 5,400千円【継続】

県民公開講座開催に要する費用、肝炎医療費助成審査事務に要する費用

(2) 生活習慣病等協議会設置関連事業(肝炎対策部分のみ) 95千円【継続】

肝炎対策協議会開催に要する費用

(3) 肝疾患診療連携拠点病院事業補助金 11,257千円【継続】

肝疾患診療連携拠点病院(弘前大学医学部附属病院)が実施する事業に要する費用に対する補助(肝疾患相談センターの運営、連絡協議会、肝炎医療コーディネーター養成研修会(市町村担当者研修会)の開催)【参考資料2参照】